



早いもので今年ももう 12 月、日キューバ外交関係樹立 90 周年の年も最後の月に入りました。

両国は 1929 年 12 月 21 日に外交文書により外交関係を開設しました。

それに先立つ 1902 年のキューバ共和国独立に際して、両国は最も高いレベルでやりとりをしています。同年 9 月 10 日にエストラダ・パルマ大統領が明治天皇にキューバの独立と大統領就任を知らせる親書を送り、これに対して 12 月 29 日に明治天皇が返書を送られたのです。

明治天皇は次の通り記されました：

「閣下が此重職ニ就カルルヤ政治益々興リ誉望彌彌洽（よぼう いよいよ あまね）ク貴国ノ昌栄人民ノ幸福日々多キコトヲ加フルコトハ朕ノ信シテ疑ハサルトコロナリ

茲ニ両国間ノ交誼今ヨリ幾層ノ親密ヲ加ヘンコトヲ共ニ併セテ閣下ノ就職ヲ賀シ貴国人民ノ康寧隆盛ヲ祈ル」

100 年以上前の 12 月にこの国へ送られたこのお言葉は、日本の対キューバ関係の最も中心的なところを表され、それは今日もなお生きていると感じます。

令和元年 12 月

駐キューバ大使 藤村和広



EMBAJADA  
del JAPÓN  
CUBA